

第16回 EMR/ESD研究会

これまでの軌跡 ―未来への挑戦

会 期：2016年7月17日（日）

会 場：シェーンバッハ・サボー

代表世話人：工藤 進英（昭和大学横浜市北部病院）

当番世話人：炭山 和毅（東京慈恵会医科大学内視鏡科）

第16回 EMR/ESD 研究会

【事務局】

東京慈恵会医科大学内視鏡科

事務局長 玉井 尚人

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

【運営事務局】

株式会社プランニングウィル

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル6階

TEL：03-6801-8084 FAX：03-6801-8094

E-mail：emr-esd16@pw-co.jp

ご挨拶

この度、代表世話人の工藤進英先生をはじめとする世話人の先生方、また、演題をご応募いただいた、北は北海道、南は鹿児島に至る、全国の諸先生方のご指導ご支援により、来たる7月17日に第16回EMR/ESD研究会を開催させていただき運びとなりました。

EMR研究会として発足した本研究会は、会を重ねるごとに議論の中心がESDへと移行してまいりました。本邦発信のESDは、パイオニアの先生方の尽力により、開発当初よりも格段に洗練され、安全かつ信頼できる医療へと成長しました。腫瘍の一括切除に重きを置いた十全な治療概念は、積み重ねられた多くのエビデンスによって今では国際的に広く認知されております。

一方、もう一つの研究課題であるEMRの役割が不明確になったわけではありません。EMRの開発が、現在の内視鏡治療の発展の礎となったことは明白であり、簡便かつ安全、安価に実施できる技術的魅力は、今も色褪せることはありません。例えESD技術が更に進歩したとしても、正確な診断と精緻な治療戦略に基づけば、当面、EMRを選択すべき症例が減ることはないと考えております。実際、EMRは実施可能でもESDは難しいという病院は多く、海外に目を向ければ、多くの国で未だESDの利点を活かすための環境が醸成されているとは言えません。ESDを次のステージへと飛躍させるためにも、EMRも含めた“これまでの軌跡”を振り返り、現時点でのEMR/ESD各々の役割を見直すべき時ではないかと考えております。そこで今回は、新しい企画として施設や医師によって治療戦略が異なり得る症例を提示し、エキスパートの先生方に治療戦略について討議いただくクロストークをお願いいたしました。

今回、ご応募いただいた抄録を拝見すると、大腸小病変に対するcold polypectomyや従来のEMRでは一括切除が困難な病変に対するunderwater EMRの有用性に関する報告が多く見られます。一方、ESD関連では、糸つきクリップや軟性内視鏡用マニピュレータなど、各種カウンタートラクションデバイスの機器開発が進んでおり、更なる飛躍へ向けた挑戦の息吹を感じることができます。ESDの総括として、パイオニアの一人である神戸大学の豊永先生に、ESDの基本・限界への挑戦 - Quality controlled ESDの極意 - と題したアフタヌーンセミナーでのご講演をお願いいたしました。

更に、EMR/ESDの技術は、これまで消化器内視鏡医の関心事ではなかった領域においても応用が広がっています。例えば、LECS、NEWSなど消化管全層を切除する試みや、頭頸部領域でのESDやELPS、筋層に病変の首座がある疾患に対するPOEMやPOETなど、ESDとは区別される新技術です。これらは、本来、本研究会で討議すべき課題ではないのかもしれませんが、しかし、技術的にはESDから派生したものであり、各々の臨床的意義や適応を明らかにするためには同じテーブルの上で議論することが必要と考えました。

ランチョンセミナーでは大阪大学の中島先生に産学医工連携研究の豊富なお経験について、また、医療業界以外の出身でありながら、内視鏡医の夢から生まれた軟性内視鏡用縫合器Overstitchを、世界40カ国以上で販売することに成功した、起業家でありApollo Endosurgeryの社長を務める、The University of Texas at Austin Alumni AssociationおよびIRCAD surgical training institute for surgical innovationのDennis McWilliams氏にご講演を頂き、夢への挑戦を現実の形にする具体的な道標をお示しめしいただきたいと思っております。Overstitchなど本邦薬事承認器具に実際に触れていただける体験コーナーを、企業展示ブースに設けておりますので、興味のある先生方は是非お立ち寄りください。

例年、暑い夏の開催となりますが、冷たい飲み物や軽食などもご用意いたします。少しでも多くの先生方にご参加いただき、熱い討論をお願いできればありがたく存じます。

2016年7月

第16回 EMR/ESD研究会

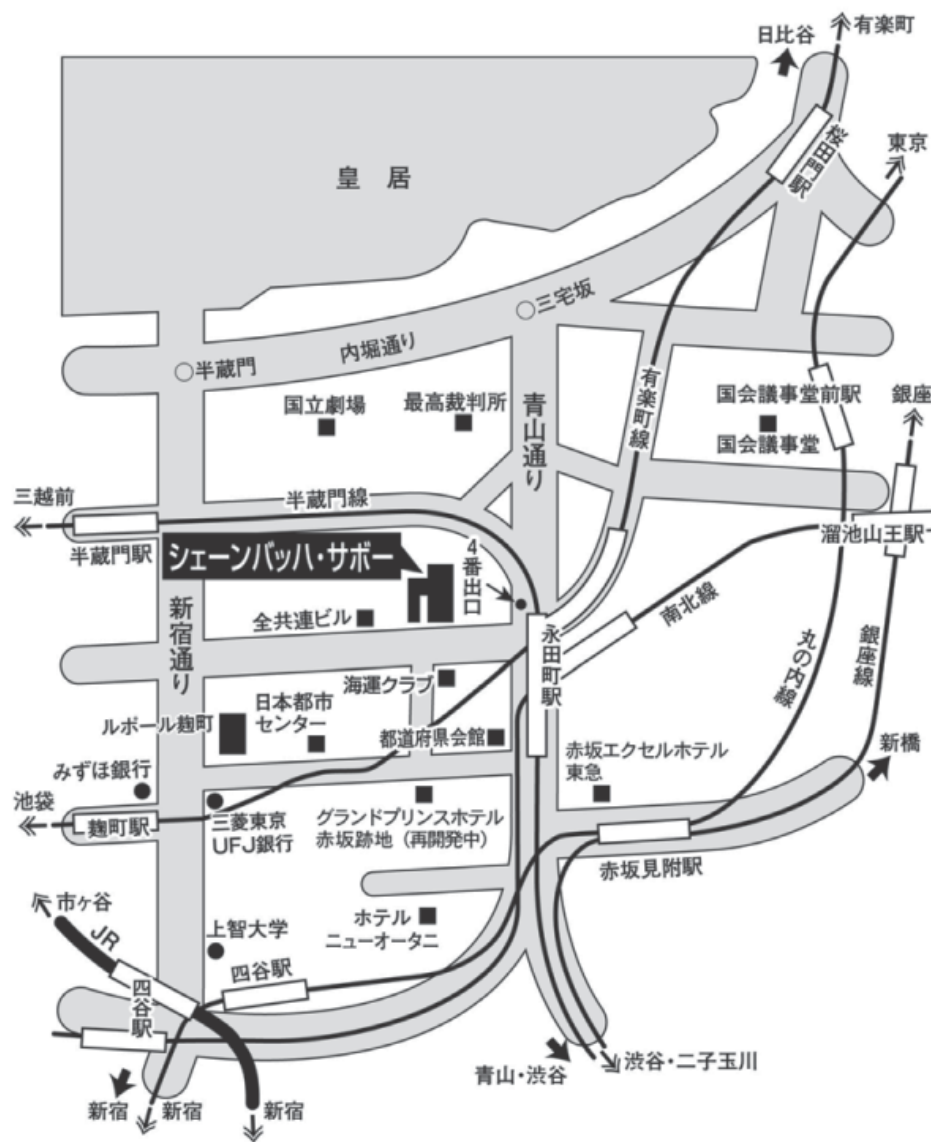
当番世話人 炭山 和毅
(東京慈恵会医科大学内視鏡科)

事務局長 玉井 尚人
(東京慈恵会医科大学内視鏡科)

交通案内図

会場：シェーンバッハ・サボー

(〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 電話：03-3261-8386 (代表))



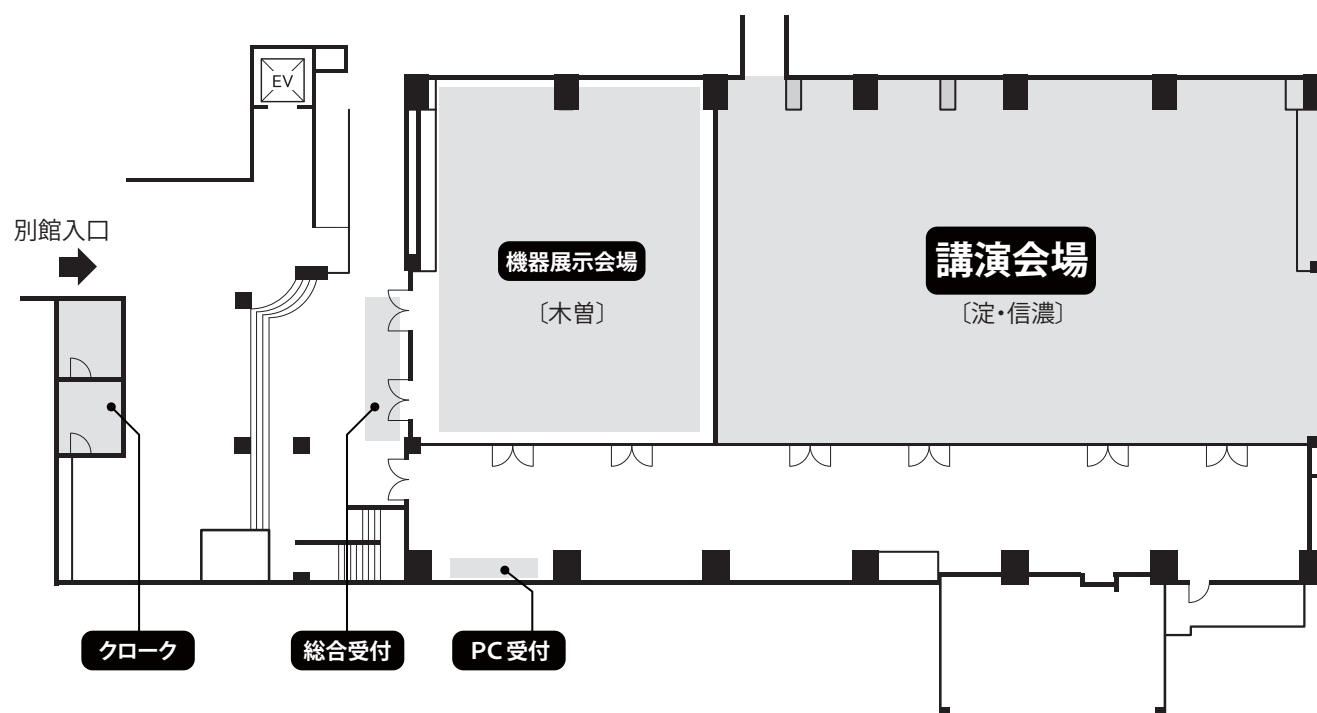
■交通のご案内

- 東京メトロ 麹町駅 <有楽町線> 半蔵門方面出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 永田町駅 <有楽町線> <半蔵門線> 4番・5番出口より徒歩約4分
- 東京メトロ 永田町駅 <南北線> 9番出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 赤坂見附駅 <銀座線> <丸の内線> より徒歩約8分
- J R 四ッ谷駅 麹町出口より徒歩約14分
- 都 バ ス 都市センター前 (新橋駅⇄市ヶ谷駅⇄大久保駅)

会場案内図

シェーンバッハ・サボー

1 階



ご参加者の皆様へ

- (1) 参加受付は、以下の通り行います。

時 間：7月17日（日） 8：15～17：00

場 所：シェーンバッハ・サボー 1階

住 所：〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5

参加費：一般（医師・企業） ￥5,000

研修医・メディカルスタッフ ￥3,000

- (2) 機器展示会場にて医療機器展示を行います。

ご発表者の皆様へ

- (1) 発表時間

各演題の発表時間は、以下のとおりです。

会の円滑な運営のため、発表時間は厳守いただきますようお願いいたします。

●一般演題：発表5分、質疑応答2分

- (2) 発表セッション開始時刻の30分前までに、会場前に設置するPC受付にて発表データの確認ならびにデータのご提出を行ってください。

- (3) 発表データーはUSBフラッシュメモリでご持参いただくか、ご自身のPCをお持ち下さい。
動画を含まれる方やMacintoshをご利用の方は、必ずご自身のPCをご持参下さい。

□メディアをお持ち込みの場合

- ・会場にご用意する発表用のPCはWindows7です。（Vista・XPにも対応）
- ・アプリケーションソフトはWindows Microsoft PowerPoint 2003以降のバージョンに限ります。
- ・フォントは文字化けを防ぐためOS標準のものをご利用下さい。
- ・ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。
- ・メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックして下さい。
- ・受付時にコピーした発表データは、終了後事務局で責任を持って消去いたします。

□PC本体をお持ち込みの場合

- ・PC附属のACアダプターを必ずお持ち下さい。
- ・会場でご用意するPCケーブルコネクターの形状はD-sub15ピンです。変換ケーブルが必要な機種の方はご持参下さい。

第16回 EMR/ESD研究会 タイムテーブル 2016年7月17日(日)

08:45～08:55	開会挨拶 代表世話人 当番世話人	工藤進英（昭和大学横浜市北部病院 消化器センター） 炭山和毅（東京慈恵会医科大学 内視鏡科）
08:55～11:10	セッション1 司会 コメンテーター クロストーク	上部① 小山恒男（佐久医療センター 内視鏡内科） 島田英雄（東海大学医学部附属大磯病院 外科） 矢作直久（慶應義塾大学医学部 腫瘍センター） 引地拓人（福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部） 平澤 大（仙台オープン病院 消化器内科） 阿部清一郎（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科）
11:10～11:45	セッション2 司会 コメンテーター	メディカルスタッフから見た EMR/ESD 藤城光弘（東京大学医学部附属病院 光学医療診療部） 林 武雄（昭和大学横浜市北部病院 消化器センター）
休憩		
11:55～12:55	ランチョンセミナー （共催：武田薬品工業株式会社、大塚製薬株式会社） 内視鏡治療の最前線 司会 演者 講演1 講演2 コメンテーター	井上晴洋（昭和大学江東豊洲病院 消化器センター） 「上部消化管疾患における酸分泌抑制の新展開」 千葉井基泰（平和台クリニック） 「内視鏡治療の新展開：デバイスのちから」 New Device Innovation for the treatment of Gastrointestinal Lesions」 中島清一（大阪大学次世代内視鏡治療学共同研究部門） Dennis McWilliams（The University of Texas at Austin Alumni Association IRCAD surgical training institute for surgical innovation）
休憩		
13:05～14:55	セッション3 司会 コメンテーター クロストーク 指定演者	上部② 小野裕之（静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科） 加藤正之（東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 内視鏡部） 山本博徳（自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門） 野中康一（NTT 東日本関東病院 消化器内科） 菊池大輔（虎の門病院 消化器内科） 後藤 修（慶應義塾大学医学部 腫瘍センター）
14:55～15:25	アフタヌーンセミナー （共催：富士フイルムメディカル株式会社） 「ESDの基本・限界への挑戦 - Quality controlled ESDの極意 - 」 司会 演者	藤崎順子（がん研有明病院 消化器内科） 豊永高史（神戸大学医学部附属病院 消化器内科）
15:25～17:20	セッション4 司会 コメンテーター クロストーク	下部 藤井隆広（藤井隆広クリニック） 檉田博史（近畿大学医学部 消化器内科） 斎藤 豊（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科） 池松弘朗（国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科） 竹内洋司（大阪府立成人病センター 消化器内科）
17:20～17:30	統括発言	田尻久雄（一般社団法人日本消化器内視鏡学会 理事長）

第16回 EMR/ESD研究会 プログラム

代表世話人：工藤進英（昭和大学横浜市北部病院 消化器センター）

当番世話人：炭山和毅（東京慈恵会医科大学 内視鏡科）

上部①

司会：小山恒男（佐久医療センター 内視鏡内科）

島田英雄（東海大学医学部付属大磯病院 外科）

コメンテーター：矢作直久（慶應義塾大学医学部 腫瘍センター）

8 : 55 ~ 9 : 10

クロストーク：引地拓人（福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部）

平澤 大（仙台オープン病院 消化器内科）

阿部清一郎（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科）

01-1 下咽頭表在癌に対するESDの有用性および安全性の検討

○佐々木文郷, 上村修司, 岩下ちひろ, 那須雄一郎, 井戸章雄
（鹿児島大学 消化器疾患・生活習慣病学）

01-2 咽頭表在癌における糸付きクリップ併用ESDとELPSの検討

○田渕真惟子
（長崎大学病院 消化器内科）

01-3 進化する咽頭ESD

○菊池大輔
（虎の門病院 消化器内科）

01-4 食道ESD時にリドカイン局注剤を使用し、良好な蠕動抑制効果が得られた一例

○吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子
（がん研有明病院 内視鏡診療部）

01-5 食道癌放射線療法後原発巣遺残再発に対するタラポルフィリンナトリウム（レザフィリン®）PDTの治験から実臨床への応用

○山本佳宣, 境秀樹, 北村悟, 徳山長裕, 澤井寛明, 坂井文, 櫛田早絵子, 三村卓也,
津村英隆, 坂本岳史, 三木生也, 津田政広, 井口秀人
（兵庫県立がんセンター）

01-6 CO₂レーザーによる次世代の食道ESD技術の開発

○有吉隆佑, 森田圭紀, 東健
（神戸大学医学部附属病院 消化器内科）

01-7 新しい三角ナイフ（TTj）を用いたPOEM

○石田幸子, 角一弥, 畑佳孝, 池田晴夫, 鬼丸学, 井上晴洋
（昭和大学江東豊洲病院 消化器センター）

- 01-8 食道ESD後狭窄における治療抵抗性因子とSH経口+局注併用療法の有用性の検討**
 ○山口直之^{1,2}, 福田浩子², 南ひとみ¹, 松島加代子¹, 赤澤祐子¹, 大仁田賢^{1,2}, 竹島史直¹, 宿輪三郎¹, 磯本一³, 中尾一彦¹
 (長崎大学病院 光学医療診療部¹, 同 消化器内科², 鳥取大学医学部附属病院 第二内科³)
- 01-9 切除範囲が幽門輪に達する早期胃癌のESD治療成績と術後狭窄のリスク因子**
 ○黒木一峻¹, 佐野村洋次¹, 岡志郎², 水本健², 栗原美緒², 吉福良公², 田中信治¹, 茶山一彰¹
 (広島大学病院 内視鏡診療科¹, 同 消化器・代謝内科²)
- 01-10 胃噴門部・幽門前庭部ESD後狭窄に対するステロイド投与の有用性の検討**
 ○北山素, 山口直之, 庄司寛之, 堀朋子, 田島和昌, 志垣雅誉, 田中わかな, 永松雅朗, 井山玲奈, 塩田純也, 三根祥一郎, 赤司太郎, 田渕真惟子, 荻原久美, 南ひとみ, 中鋪卓, 橋口慶一, 松島加代子, 赤澤祐子, 大仁田賢, 竹島史直, 宿輪三郎, 中尾一彦
 (長崎大学病院 消化器内科)
- 01-11 食道癌後縦隔再建後の難治性食事通過障害に対し、ESDによる胃管形成術が奏功した1例**
 ○山本克己¹, 佐藤悠¹, 野呂浩史², 宋智亨², 日下部瑛¹, 齊木浩二¹, 徳田有紀¹, 巽信之¹, 道田知樹³, 伊藤敏文¹
 (JCHO大阪病院 消化器内科¹, JCHO大阪病院 外科², 帝京大学ちば総合医療センター 第3内科³)
- 01-12 胃前庭部内視鏡的粘膜下層剥離術後の通過障害に対する内視鏡的前庭部形成術**
 ○小原佳子¹, 豊永高史²
 (神戸大学 消化器内科¹, 神戸大学医学部附属病院 光学医療診療部²)
- 01-13 PPI抵抗性GERDに対する内視鏡的噴門形成術 (ARMS) の実際**
 ○角一弥, 池田晴夫, 井上晴洋
 (昭和大学江東豊洲病院 消化器センター)
- 01-14 早期胃癌sm浸潤距離とリンパ節転移**
 ○宮原孝治¹, 中川昌浩², 岡本由貴¹, 公文恵美子¹, 丸尾正幸¹, 衣笠秀明¹, 東玲治¹
 (広島市立広島市民病院 内科¹, 同 内視鏡内科²)
- 01-15 胃ESDによる複数病変同時切除の妥当性**
 ○芦荻圭一¹, 千葉秀幸¹, 栗原大典¹, 高橋昭裕², 後藤亨¹
 (大森赤十字病院 消化器内科¹, 練馬光が丘病院 消化器内科²)
- 01-16 胃ESD後経鼻胃管留置により遅発性穿孔をきたした早期胃癌の1例**
 ○皆川武慶¹, 阿部清一郎¹, 田中寛人², 小田一郎¹, 野中哲¹, 鈴木晴久¹, 吉永繁高¹, 斎藤豊¹
 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科¹, 群馬大学医学部 消化器・肝臓内科²)
- 01-17 胃ESD後人工潰瘍におけるVonoprazan5週投与の有効性
 ~PPIとの比較~**
 ○香川朋, 石川茂直, 稲葉知己, 豊澤惇希, 石田正也, 倉岡紗樹子, 佐々木宏樹, 榊原一郎, 泉川孝一, 山本久美子, 高橋素真, 田中盛富, 松浦美穂子, 蓮井利実, 和唐正樹
 (香川県立中央病院 消化器内科)

メディカルスタッフから見た EMR/ESD

司会：藤城光弘（東京大学医学部附属病院 光学医療診療部）

コメンテーター：林 武雄（昭和大学横浜市北部病院 消化器センター）

02-1 分業化に取り組んでいる当院内視鏡技師のキャリアアップ

○金井佐織，本多千鶴子，榊香苗，佐藤真弓，遠藤かおり，玉井尚人，炭山和毅
（東京慈恵会医科大学附属病院 内視鏡部）

02-2 抗血栓薬内服中のEMR症例に対するコメディカル側からの工夫と経験

○天谷祥隆
（四谷メディカルキューブ 医療技術主任部）

02-3 内視鏡的粘膜下層剥離術中の鎮静におけるデクスメトミジンの効果についての検討

○二宮多恵子¹，辻陽介²，竹内千尋²，松田梨恵³，吉田俊太郎³，北川瞳¹，伊賀上由子¹，
藤城光弘³，小林智明¹
（東京大学医学部附属病院 看護部¹，同病院 消化器内科²，同病院 光学医療診療部³）

02-4 中規模一般病院における側方進展型大腸腫瘍（LST）に対する内視鏡治療～大腸ESDの代替法としてのUnderwater EMR（UEMR）の可能性～

○古橋広人，加藤正之，鳥巢勇一
（富士市立中央病院）

02-5 十二指腸ESDを安全に施行するための工夫：デバイス、施行医、技師の固定化

○石井直樹，秋山仁
（聖路加国際病院 消化器センター）

内視鏡治療の最前線

司会：井上晴洋（昭和大学江東豊洲病院 消化器センター）

講演1 「上部消化管疾患における酸分泌抑制の新展開」

千葉井基泰（平和台クリニック）

講演2 「内視鏡治療の新展開：デバイスのちから

New Device Innovation for the treatment of Gastrointestinal Lesions」

中島清一（大阪大学次世代内視鏡治療学共同研究部門）

コメンテーター：Dennis McWilliams（The University of Texas at Austin Alumni Association
IRCAD surgical training institute for surgical innovation）

共催：武田薬品工業株式会社
大塚製薬株式会社

上部②

司会：小野裕之（静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科）

加藤正之（東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 内視鏡部）

コメンテーター：山本博徳（自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門）

13:05 ~ 13:20

クロストーク：野中康一（NTT 東日本関東病院 消化器内科）

菊池大輔（虎の門病院 消化器内科）

指定 内視鏡で粘膜を“手縫い”できるか？－内視鏡による粘膜縫合への挑戦

- 後藤修，佐々木基，鮑本哲兵，木口賀之，光永豊，落合康利，藤本愛，前畑忠輝，西澤俊宏，
浦岡俊夫，矢作直久
（慶應義塾大学医学部 腫瘍センター）

03-1 早期胃癌症例における広義のLECS

- 中村純^{1,2}，引地拓人¹，渡辺晃^{1,2}，菊地眸^{1,2}，藁谷雄一^{1,2}，小原勝敏³，大平弘正²
（福島県立医科大学附属病院 内視鏡診療部¹，
福島県立医科大学医学部 消化器・リウマチ膠原病内科学講座²，
福島県立医科大学 消化器内視鏡先端医療支援講座³）

03-2 OTSCによる内視鏡治療偶発症のトラブルシューティング

- 小林伸也，森宏仁，小原英幹，千代大翔，松永多恵，藤原新太郎，西山典子，綾木麻紀，
谷内田達夫，正木勉
（香川大学医学部 消化器・神経内科）

03-3 POETの有用性と限界

- 畑佳孝，池田晴夫，鬼丸学，井上晴洋
（昭和大学江東豊洲病院 消化器センター）

03-4 十二指腸ESDにおけるLaparoscopy assisted suture + clip法の有用性

- 依光展和，小山恒男，高橋亜紀子，小林泰輔
（佐久医療センター 内視鏡内科）

03-5 当院における非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する内視鏡治療成績

- 山本頼正，吉水祥一，清水智樹，山口和久，堀内裕介，大前雅実，由雄敏之，平澤俊明，
石山晃世志，土田知宏，藤崎順子
（がん研有明病院 上部消化管内科）

03-6 十二指腸非乳頭部腫瘍に対する内視鏡的粘膜切除の現状と問題点

- 山崎泰史，上堂文也，竹内洋司，加藤穰，濱田健太，東内雄亮，松浦倫子，金坂卓，
赤坂智史，鼻岡昇，山本幸子，東野晃治，石原立，飯石浩康
（大阪府立成人病センター 消化管内科）

**03-7 10mm以下の非乳頭部十二指腸腺腫に対する新たな治療戦略
－ Cold Snare Polypectomyの安全性および有効性について－**

○滝沢耕平, 角嶋直美, 田中雅樹, 川田登, 吉田将雄, 岸田圭弘, 岩井朋洋, 五十嵐公洋,
伊藤紗代, 今井健一郎, 石渡裕俊, 堀田欣一, 松林宏行, 小野裕之
(静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科)

03-8 十二指腸非乳頭部腫瘍に対する underwater EMR (UEMR) の短期治療成績

○松永和大¹, 西谷雅樹¹, 太田亮介¹, 柳瀬祐孝¹, 川崎梓¹, 竹田康人¹, 中西宏佳²,
吉光雅志¹, 辻 国広¹, 富永桂³, 吉田尚弘¹, 辻重継¹, 竹村健一¹, 山田真也¹, 土山寿志¹
(石川県立中央病院 消化器内科¹, 金沢大学付属病院 消化器内科²,
加賀市医療センター 消化器内科³)

03-9 早期胃癌に対する S-O clip™ の使用経験

○堀伸一郎^{1,2}, 西出憲史², 畔元信明²
(国立病院機構 四国がんセンター 内視鏡科¹, 同 消化器内科²)

**03-10 胃穹隆部 高難度部位において ESDを行った1例
－ adjustable counter tractionの有用性－**

○池田晴夫, 角一弥, 畑佳孝, 丸山祥太, 鬼丸学, 井上晴洋
(昭和大学江東豊洲病院 消化器センター)

03-11 新型デバイス (Splash M-knife®) を用いた胃 ESD

○江崎充, 安部周壺, 糸永周一, 横山梓, 林康代, 菅野綾, 細川泰三, 荻野治栄, 秋穂裕唯
(北九州市立医療センター 消化器内科)

03-12 新型胃 ESD用はさみ型ナイフと先端可変式オーバーチューブの開発

○小林真¹, 本間清明²
(市立四日市病院 消化器内科¹, 日本海総合病院 内視鏡内科²)

アフタヌーンセミナー

14:55 ~ 15:25

「ESDの基本・限界への挑戦 - Quality controlled ESDの極意 -」

司会：藤崎順子 (がん研有明病院 消化器内科)
演者：豊永高史 (神戸大学医学部附属病院 消化器内科)
共催：富士フイルムメディカル株式会社

セッション4

15:25 ~ 17:20

下部

司会：藤井隆広 (藤井隆広クリニック)
榎田博史 (近畿大学医学部 消化器内科)
コメンテーター：斎藤 豊 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

15:25 ~ 15:40

クロストーク：池松弘朗 (国立がん研究センター東病院 消化管内視鏡科)
竹内洋司 (大阪府立成人病センター 消化器内科)

04-1 若手内視鏡医による Cold polypectomy

○高田祐明, 加藤元彦, 窪澤陽子, 砂田由紀恵, 平井悠一郎, 阿部圭一朗, 平田哲, 高取祐作, 伴野繁雄, 和田道子, 木下聡, 森英毅, 高林馨, 菊池美穂, 菊池真大, 浦岡俊夫
(国立病院機構 東京医療センター 消化器科)

04-2 抗血栓薬使用下・透析下における Cold Snare Polypectomy の安全性の検討

○松本美桜, 重沢拓, 宮本大輔, 太宰昌佳, 小野寺学, 吉井新二
(NTT 東日本札幌病院 消化器内科)

04-3 結節の大きさを指標とした細分類を用いた径 20mm 以上の大腸 LST-G に対する治療ストラテジー

○山下 賢¹, 田中信治¹, 岡志郎¹, 嶋田賢次郎¹, 保田和毅¹, 水本健¹, 平野大樹¹, 住元旭¹, 田丸弓弦¹, 二宮悠樹¹, 林奈那¹, 茶山一彰²
(広島大学病院 内視鏡診療科¹, 同 消化器・代謝内科²)

04-4 30mm 未満の大腸腫瘍における EMR と ESD の治療成績の検討

○桜井達也, 工藤進英, 林武雅, 石垣智之, 佐藤雄太, 大宮俊啓, 神山勇太, 中村大樹, 藤井崇, 林靖子, 豊嶋直也, 三澤将史, 森悠一, 工藤豊樹, 若村邦彦, 宮地英行, 片桐敦, 石田文生
(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター)

04-5 大型の大腸表面隆起型腫瘍に対する内視鏡治療 — EMR vs ESD —

○藤井隆広¹, 松田尚久², 斎藤豊², 藤盛孝博³
(藤井隆広クリニック¹, 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科², 神鋼病院 病理診断センター³)

04-6 Underwater EMR が有用であった大腸 EMR 後遺残再発の 1 例

○細谷和也, 今井健一郎, 伊藤紗代, 堀田欣一, 川田登, 田中雅樹, 角嶋直美, 滝沢耕平, 小野裕之
(静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科)

04-7 当院における直腸神経内分泌腫瘍 (NET) に対する内視鏡治療成績

○澁谷尚希^{1,2}, 仲吉隆¹, 金山はるか¹, 池田圭一¹, 小池和彦², 岡本友好³
(東京慈恵会医科大学附属第三病院 内視鏡部¹, 同 消化器・肝臓内科², 同 外科³)

04-8 当院における直腸神経内分泌腫瘍 (R-NET) の臨床病理学的特徴および長期成績

○田顔夫佑樹, 千野晶子, 中野薫, 岩崎将, 山崎明, 岸原輝仁, 為我井芳郎, 五十嵐正広, 斎藤彰一
(がん研有明病院 消化器内科)

04-9 大腸 ESD におけるはさみ型鉗子 Clutch Cutter 併用の安全性及び有用性に関する比較検討

○谷内田達夫^{1,2}, 小原英幹¹, 森宏仁¹, 松永多恵¹, 藤原新太郎¹, 西山典子¹, 綾木麻紀¹, 舩形尚², 正木勉¹
(香川大学医学部 消化器内科¹, 同 総合内科²)

04-10 大腸 ESD において、牽引法は安全かつ効率的な粘膜下層剥離に貢献する

○赤松拓司
(日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科)

- 04-11** 糸つきクリップを使用した牽引補助下大腸ESD (TAC-ESD) の有効性
○山崎泰史, 竹内洋司, 石原立, 加藤穰, 濱田健太, 東内雄亮, 松浦倫子, 金坂卓, 赤坂智史, 鼻岡昇, 山本幸子, 東野晃治, 上堂文也, 飯石浩康
(大阪府立成人病センター 消化管内科)
- 04-12** 回盲部ESDのストラテジー
ーJET-Bナイフ/ITナイフ nanoにトラクション法を組み合わせー
○宮本康雄, 高丸博之, 居軒和也, 山田真善, 坂本琢, 中島健, 松田尚久, 斎藤豊
(国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)
- 04-13** 2本の腕からなる新デバイスを用いた大腸ESD
○岡本康治^{1,2}, 中楯龍¹, 森山智彦², 中村昌太郎⁴, 岩佐勉^{1,5}, 赤星朋比古⁶, 池田哲夫⁶, 小栗晋⁶, 荒田純平^{1,7}, 大内田研宙³, 北園孝成², 橋爪誠^{1,6}
(九州大学 先端医療イノベーションセンター¹, 九州大大学院・病態機能内科学², 同 臨床・腫瘍外科学³, 岩手医大・消化器内科消化管分野⁴, 九州大大学院・病態制御内科学⁵, 九州大病院・先端医工学診療部⁶, 九州大機械工学部門⁷)
- 04-14** 抗血栓薬継続下大腸ESDの治療成績
ーPGAフェルト+フィブリン糊被覆法を用いた後出血予防対策ー
○福田浩子¹, 山口直之^{1,2}, 中鋪卓¹, 南ひとみ¹, 松島加代子¹, 赤澤祐子¹, 大仁田賢^{1,2}, 竹島史直¹, 宿輪三郎¹, 磯本一³, 中尾一彦¹
(長崎大学病院 消化器内科¹, 同 光学医療診療部², 鳥取大学医学部附属病院 第二内科³)

統括発言

17:20 ~ 17:30

田尻久雄 (一般社団法人日本消化器内視鏡学会 理事長)